

入賞	7 MW浮体式洋上風車用浮体の実証技術開発
技術開発者	東京大学 氏名：石原 孟
	
<p style="text-align: center;">受賞にあたって</p>	
<p>この度は国土技術開発賞「入賞」という栄誉を賜り、誠にありがとうございます。福島復興を目的に取り組んできた浮体式洋上ウィンドファームの実証研究事業の成果がこのように高い評価を受けたことを、大変うれしく思います。</p> <p>本技術開発の成果は、また東日本大震災で被災された福島県および地元の皆様のご理解なくしては得られなかったものです。また資源エネルギー庁を始め、福島洋上風力コンソーシアムの各社が目的の達成に向けて熱意を持って取り組んだ賜物であり、本技術開発に携わったこれらの関係者の皆様に心からの感謝の意を申し上げます。</p> <p>浮体式洋上風力発電は我が国の有望な国産エネルギー源であり、今回の技術開発が我が国における再生可能エネルギーの導入拡大に大いに貢献するものと信じています。ここまでの開発成果をさらに発展させ、浮体式洋上風力発電の実用化に結び付けていきたいと思っています。</p>	
<p style="text-align: center;">受賞後の動き</p>	
<p>福島復興・浮体式洋上ウィンドファーム実証研究事業では、今年の夏に3基目の浮体式洋上風車の実証機「ふくしま浜風」を設置し、浮体式洋上風車3基と浮体式洋上サブステーション1基で構成される世界初のウィンドファーム実証施設が完成します。今後本ウィンドファームに関わる各種データを取得するとともに、浮体式洋上風力発電技術の検証および実証研究後の実用化に向けた検討を行っていききたいと考えています。</p>	